
令和7年度の主な取り組み(案)



RUMOI

その美しさに息を呑むほどの夕陽と
世界三大波瀾のまち

－ 目 次 －

1. 令和7年度 主な取り組み(案)
2. デマンドタクシー(夜間便)の実証運行の検証
3. 留萌旭川速達便の実証運行の検証
4. 運転手確保に向けた取り組みへの支援

1. 令和7年度 主な取り組み(案)

【令和7年度の重点取り組み】

- ・ デマンドタクシー(夜間便)の実証運行の検証を実施
- ・ 留萌旭川速達便の実証運行の検証を実施
- ・ 交通事業者における運転手確保に向けた取り組みへの支援

基本方針1 広域交通・地域間交通の維持・確保

■都市間を結ぶ公共交通ネットワークの維持・確保

- ・ 【継続】 広域交通及び地域間交通の維持・確保を図る

■JR留萌本線廃線後の代替交通の維持・見直し

- ・ 【新規】 デマンドタクシー(夜間便)及び留萌旭川速達便の実証運行の検証を実施

基本方針2 市内公共交通体系の再構築

■新交流複合施設への公共交通結節機能導入の検討

- ・ 【新規】 新交流複合施設基本計画の策定に合わせ検討

■バス待合所環境の整備

- ・ 【継続】 沿岸部のバス待合所の整備を実施(2か所)

基本方針3 公共交通利用促進に関する課題

■高齢者向けバス利用促進策の実施

- ・ 【継続】 高齢者市内バス無償化実証実験事業を実施

■運転手確保に向けた各種取り組みの実施

- ・ 【新規】 地域おこし協力隊(交通分野)制度の活用に向けた検討・募集

■北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の周知

- ・ 【新規】 市内事業所への北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の周知・調査

■市民向けモビリティマネジメント実施の検討

- ・ 【新規】 広報誌への公共交通特集の掲載

2. デマンドタクシー(夜間便)の実証運行の検証

■ 現状と課題

- JR留萌本線の廃線に伴い、通学保障の観点から運行開始。
- 夜間便はR5～R7の3年間の実証運行。
※今年度が実証運行期限。
- 学生は原則、留萌旭川線バスの利用とし、実習等で**バスに間に合わない場合に限り、夜間便**を利用。
- バス最終便は深川発18時のため、夜間便を廃止すると**最終時刻が約2時間早まる。**
- **利用者の意見**や**費用対効果**を考慮しながら、事業の在り方を検証。

■ 令和6年度運行実績<再掲>

○上り【留萌→深川】

ダイヤ	乗車人数			
	定期券(学生)	一般	合計	
早朝便①	5:54	49人	82人	131人
早朝便②	6:59	144人	34人	178人
夜間便	19:10		44人	44人
計		193人	160人	353人

○下り【深川→留萌】

ダイヤ	乗車人数			
	定期券(学生)	一般	合計	
早朝便	7:50		41人	41人
夜間便	20:10	25人	63人	88人
計		25人	104人	129人

2. デマンドタクシー(夜間便)の実証運行の検証

■ 検証方法

- ・ デマンドタクシー(夜間便)の利用者に対し、利用目的や利便性などに関するアンケートを実施。
- ・ 学生向けには、個別のヒアリングを実施。

■ アンケート実施方法(案)

- ・ 【実施対象】 デマンドタクシー(夜間便)利用者(学生除く)
- ・ 【実施期間】 2か月程度 (8~9月頃を予定)
- ・ 【配布方法】 タクシー車内へのチラシ掲示(QRコード)
- ・ 【回答方法】 QRコード
- ・ 【項目】 利用目的、運行ダイヤ、廃止した際の影響 等

■ 対応策

- ① 継続(変更なし)
- ② 継続(ダイヤ見直し)
- ③ 廃止

■ 令和7年度通学利用者(7月1日時点)

利用者名	通学先	学校名	学年
A	深川市	拓殖大学北海道短期大学 ※2年制	2年
B	深川市	深川市立高等看護学院 ※3年制	3年
C	深川市	深川市立高等看護学院 ※3年制	3年

3. 留萌旭川速達便の実証運行の検証

■ 現状と課題

- JR留萌本線の廃線に伴い、旭川への速達性を高める新たな交通体系として、運行開始。
- R5～R7の3年間の実証運行。
※今年度が実証運行期限
- 採算確保には1便当たり**約20人**の利用が必要だが、**7.4人**となっている。
- 当初、**R8以降は交通事業者による自走**を想定していたが、収支欠損が生じている現状を鑑み、交通事業者としては**単体での維持は困難との見解**。
- **利用者の意見**や**費用対効果**を考慮しながら、事業の在り方を検証。

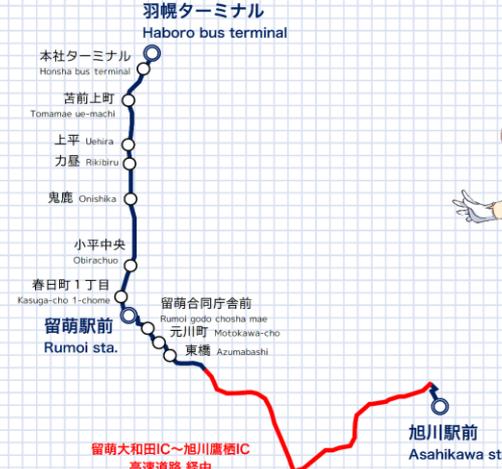
定員制自由席（非予約制・先着順）

2023. 4. 1

羽幌⇄旭川

沿岸特急 あさひかわ号 はじまりました

留萌～旭川間を約1時間30分で結びます！



羽幌ターミナル
Haboro bus terminal

本社ターミナル
Honsha terminal

苫前上町
Tomamae se-machi

上平 Uehira
力屋 Rikibiru

鬼鹿 Onishika

小平中央
Obirachuo

春日町1丁目
Kasuga-cho 1-chome

留萌駅前
Rumoi sta.

留萌合同庁舎前
Rumoi godo chosha mae

元川町
Motokawa-cho

東橋 Azumabashi

旭川駅前
Asahikawa sta.

留萌大和田IC～旭川鷹栖IC
高速道路 経由

沿岸バス株式会社

〒078-4103 北海道苫前郡羽幌町南3条2丁目2番地の2
羽幌営業所 0164-62-4550 留萌営業所 0164-42-1701
<http://www.engan-bus.co.jp/>

3. 留萌旭川速達便の実証運行の検証

■ 検証方法

- 留萌旭川速達便利用者に対し、利用目的や利便性などに関するアンケートを実施。

■ アンケート実施方法(案)

- 【実施対象】 留萌旭川速達便利用者
- 【実施期間】 2か月程度
(8~9月頃を予定)
- 【配布方法】 各座席へのアンケート用紙の配布
- 【回答方法】 紙 又は QRコード
- 【項目】
 - 乗降場所、利用目的
 - 運行ダイヤ、運行便数
 - 評価
 - 廃止した際の影響 等

■ 対応策

- ① 継続(路線変更)
- ② 継続(ダイヤ見直し)
- ③ 廃止

<アンケートイメージ>

鴨川⇄横浜線 ご利用者様アンケート

本日は、高速バス（鴨川～横浜線）をご利用いただき誠にありがとうございます。
 このバスは、千葉県鴨川市において社会実験として運行しているものでございますが、今後の取組の参考とさせていただくため、ご利用の皆様にごアンケートを実施しています。
 皆様には、お忙しいところ誠に恐縮でございますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご利用日 月 日

◎以下の質問について、該当する1つにチェック (○) し回答をご記入願います。

問1 お客様ご自身について

1)性別は？	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性			
2)年齢は？	<input type="checkbox"/> 10歳代	<input type="checkbox"/> 20歳代	<input type="checkbox"/> 30歳代	<input type="checkbox"/> 40歳代	<input type="checkbox"/> 50歳代
	<input type="checkbox"/> 60歳代	<input type="checkbox"/> 70歳代	<input type="checkbox"/> 80歳以上		
3)職業は？	<input type="checkbox"/> 会社員・公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他()				
4)お住まいは？	鴨川市内 ⇒ <input type="checkbox"/> 西条地区 <input type="checkbox"/> 西条地区 <input type="checkbox"/> 東条地区 <input type="checkbox"/> 鴨川地区 <input type="checkbox"/> 大山地区 <input type="checkbox"/> 吉尾地区 <input type="checkbox"/> 主基地区 <input type="checkbox"/> 江見地区 <input type="checkbox"/> 曾呂地区 <input type="checkbox"/> 大海地区 <input type="checkbox"/> 小湊地区 <input type="checkbox"/> 天津地区 <input type="checkbox"/> 南房総市 <input type="checkbox"/> 鋸南町 <input type="checkbox"/> 袖ヶ浦市 <input type="checkbox"/> 横浜市 <input type="checkbox"/> 川崎市 <input type="checkbox"/> 東京都 <input type="checkbox"/> その他()				

問2 どちらから乗車されましたか？

<input type="checkbox"/> 亀田病院	<input type="checkbox"/> 鴨川シーワールド	<input type="checkbox"/> 安房鴨川駅	<input type="checkbox"/> 鴨川市役所入口
<input type="checkbox"/> 福祉センター前	<input type="checkbox"/> みんなみの里	<input type="checkbox"/> 大山公民館	<input type="checkbox"/> 鋸南保田1C入口
<input type="checkbox"/> 袖ヶ浦バスターミナル	<input type="checkbox"/> 横浜駅東口		

問3 どちらで降車されますか？

<input type="checkbox"/> 亀田病院	<input type="checkbox"/> 鴨川シーワールド	<input type="checkbox"/> 安房鴨川駅	<input type="checkbox"/> 鴨川市役所入口
<input type="checkbox"/> 福祉センター前	<input type="checkbox"/> みんなみの里	<input type="checkbox"/> 大山公民館	<input type="checkbox"/> 鋸南保田1C入口
<input type="checkbox"/> 袖ヶ浦バスターミナル※	<input type="checkbox"/> 横浜駅東口		

※袖ヶ浦/バスターミナルにのりこされた方は下記質問にも回答をお願いします。

◎他の高速バスに乗り継ぎをされますか？また、される場合の最終目的地はどちらですか？

<input type="checkbox"/> 乗り継ぎしない	<input type="checkbox"/> 川崎	<input type="checkbox"/> 羽田	<input type="checkbox"/> 品川	<input type="checkbox"/> 新宿	<input type="checkbox"/> 渋谷
<input type="checkbox"/> 東京					

21 裏面へお進み下さい

4. 運転手確保に向けた取り組みへの支援

■ 現状と課題

- 全国的に運転手不足が深刻化している中、市においても運転手不足が深刻化。
- 交通事業者は減便、営業時間の短縮などを行いながら、運行を維持。
- 運転手不足が進行した際には、更なる減便などにつながる恐れ。

• **公共交通を維持するためには、運転手の確保が喫緊の課題。**

■ 課題解決に向けた取り組み

- 行政による運転手確保に向けた取り組みの一つとして、**「地域おこし協力隊」**制度の活用が有効。
- 他自治体での導入事例などの情報収集を行い、交通事業者の意見も取り入れながら、**R8.4月の採用**を目指す。

4. 運転手確保に向けた取り組みへの支援

■ 地域おこし協力隊制度の概要

- 都市部の人々が地方に移住して、地域活性化の仕事をしながら新しい生活を始める仕組み。
- 道内では美幌町で、地域おこし協力隊のドライバーが活動中。

■ 募集スケジュール(案)

月	内容
R7.7~8	他市における導入事例の収集
R7.9~11	交通事業者と募集内容の調整
R7.12~ R8.1	募集期間
R8.2	選考
R8.4	委嘱

■ 募集概要(案)

- 【委嘱期間】 委嘱の日から1年間 ※最大3年間
- 【就業場所】 沿岸バス(株)留萌営業所、小鳩交通(株)留萌営業所
- 【業務内容】 (1) 路線バス(タクシー)の運転
(2) 運転手魅力発信事業
(3) 公共交通に関する啓発活動、相談 等
- 【雇用形態】 交通事業者による雇用
※市は地域おこし協力隊として委嘱